

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	横浜市松見保育園
報告書作成日	平成31年3月20日（評価に要した期間 約7か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川


評価方法

自己評価 （実施期間：30年8月1日 ～30年11月14日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果をグループ分けした職員全員で検討、話し合いの後、全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：30年12月12日、 30年12月13日）	評価調査員（1日目2名、2日目3名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、副園長、主任、保育士等）を行った。職員ヒアリングは、1日目13時に育児支援センター担当保育士に、2日目の午睡時にネットワーク専任保育士、看護師、調理士、乳児担当保育士、幼児担当保育士（1～5歳児の各担当）別を実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：30年11月2日 ～30年11月14日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から配布し、無記名にて記入していただき、回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：30年12月12日、 30年12月13日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針 の共通理解と保育 課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念や基本方針は子ども本人を尊重したものになっています。これを事務室や保育室に掲示し、全職員および保護者が常に見ることができるようになっています。また、毎週月曜日のシフト別ミーティングにて保育理念・基本方針・保育目標・保育姿勢を読み合わせ、職員間で確認しあっています。 ・入園説明会や年2回の懇談会で直接保護者に伝える機会をもつようにしています。 ・年度末の会議で理念・方針を振り返り、方針の見直しの必要性についても確認しあうようにしています。 ・園の保育の基本方針に「一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え」とあります。全体的な計画は子どもの最善の利益を第一義にしています。 ・全体的な計画は年度末に振り返り、クラス会議や職員会議などで皆が意

	<p>見を出し合い、必要に応じて次年度の計画に反映させるべく改定を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『全体的な計画』は、保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成されています。また、当計画は入園説明会や懇談会で保護者に説明するとともに、各保育室や事務所、調理室の前室に常時掲示しています。 ・指導計画は全体的な計画にもとづき、年齢ごとに作成しています。 ・指導計画は、子どもの姿を見て常に見直し、保育者間で話し合い柔軟に子どもの意思を取り入れるようにしています。子どもとの関わりをもとに、常に保育者間でやり取りをしながら、月ごと・年度ごとに柔軟に指導計画の内容の見直しをしています。 ・月一回のカリキュラム会議にて指導計画の内容を共有し、保育士間で意見や助言を伝えあっています。必要な時には、クラス内にとどまらず担任以外の保育士も意見を出し合える環境づくりができています。さらに、月齢差や個人差があるので、一人ひとりの子どもに合った対応の工夫をするようにしています。
<p>I-2 子どもの 発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会にて、保護者が記入した面談票をもとに、主任等が子どもの発達状況等を把握するため、保護者全員と個人面談を行っています。 ・面談での保護者とのやりとりから、子どもの家庭での様子を理解するようにしています。 ・面談記録は保管され、全職員が情報共有できるようになっています。また、職員会議やミーティングなどで日々の子どもの様子を報告し合い、職員間で情報交換を密にしています。 ・短縮保育（慣らし保育）の目安は決まっていますが、子どもの様子や保護者の意向を考慮し、柔軟に対応しています。連絡帳だけでなく保護者と直接話す機会を設け、保護者も子どもも安心して通えるようにしています。 ・日常の保育に関係のないものは持ち込まない約束はありますが、子どもが心理的拠り所とするもの（例えば、ハンカチやタオルなど危険のないもの）の持ち込みなど、子どもの年齢や精神面を考慮しながら柔軟に対応しています。 ・保護者への連絡は、乳児クラスについては連絡帳により丁寧な報告・連絡がなされています。幼児クラスについては個別に直接保護者と話す、メモを渡すなどして、丁寧な連絡を行うようにしています。 ・進級するにあたり、旧担任より新担任に引き継ぐ機会を持ち、状況により同じ保育士が担当するようにするなど、在園児にも配慮しています。 ・カリキュラム会議ではクラス担任以外からも意見を出してもらい、子どもの発達やクラスの状況に応じて指導計画の見直しをしています。また、クラス会議やカリキュラム会議では、園全体で意見を出し合い情報を共有するようにしています。 ・週案を掲示し、月の目標や保育内容を保護者も確認できるようにしており、評価・改訂にあたって保護者の意向も反映するようにしています。 ・乳児保育（0歳児）においては次のような配慮をしています。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの表情を読み取って言葉がけをし、適切な対応を心掛けています。 (2) 登降園時に保護者に声掛けをするよう心がけ、子どもの様子を伝えあっています。 (3) 連絡帳（0歳～2歳児まで）があり、担任と保護者で日々情報のやりとりをしています。 (4) 食事とその他の活動をする場所を分けています。また、年齢や発達にあった玩具を子どもたちが手にしやすいよう、環境を整えるようにしています。 (5) 11時間保育の実施で担任が複数のため、報告や連絡をして些細なことでも情報を共有するようにしています。 ・1歳以上3歳未満児の保育においては次のような配慮をしています。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの様子をよく把握し、欲求を受けとめ発信を逃さず、応答的な対応をするようにしています。



- (2) 気持ちをうまく伝えられないことも多くある時期なので、保育士等が気持ちを言葉にして代弁するようにしながら関わっています。
- (3) 生活や遊びが充実するよう、本人の気持ちを尊重し、主体的に楽しめるようにしています。
- (4) 保育室内のコーナー作りを工夫して、子どもたちが遊び込めるようにしています。また、戸外の身近な自然（例えば近隣の公園・園庭など）に触れられるような機会を設けています。
- ・3歳以上児の保育においては次のような配慮をしています。
- (1) 園内研修において新指針の10の姿（改定保育所保育指針「総則」）について事例を通じた学びを実施しています
- (2) 集団の中で自由に体を動かして遊び、友だちとの関わりの中で相手の気持ちを理解したり、共同で活動できる環境作りをしたり工夫しています。
- (3) 3歳児は集団の中で安定して遊びを中心とした興味関心のある活動を、4歳児は集団の中で力を発揮し友だちとともに楽しめるよう遊びや活動を、5歳児は集団の中で一人ひとりの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるような遊びや活動を行っています。
- (4) 更に、5歳児ではルールのある遊びの中で、協力しあい個々のよいところを認め合えるような工夫をしています。
- (5) 当園では個人差を大切にしつつ、社会性も育めるような保育を心がけています。

I-3 快適な施

設環境の確保



- ・保育所の屋内・屋外とも常に清潔に保たれています。一日一回はトイレ・保育室等を清掃しており、場所によっては消毒液を使用します。
- ・シャワー用タオルや足ふきタオルは、その都度交換して使用しています。乳児クラスでは毎日玩具を消毒液で拭くなど、清潔を保つようにしています。
- ・こまめに温度・湿度・通風に気を付けており、保育室の温度・湿度を日誌に記録しています。陽光を十分に取り入れるよう配慮しながらも、夏場は遮光ネットを張り日陰を作るようにしています。
- ・場面に則した保育者の声の大きさを職員間で意識し、騒音にならないよう気を付けています。
- ・保育士が着るお尻洗い専用の予防衣があり、お尻洗いの時は必ずそれを着用します。
- ・温水シャワーで体の清潔を保つことは、特に夏場は必要となり気を付けて行っています。
- ・テラスに目隠しネットを設置して、幼児クラスのシャワー時の防犯対策をしています。
- ・シャワー場の壁に子どもが楽しめる壁面飾りをし、心地よくシャワーができるようにしています。
- ・シャワー場は毎日清掃を行い清潔を保っています。
- ・広い保育室を区切り、落ち着いて遊べるように工夫をしています。
- ・雨天時などには他クラスと保育室の交換やホールを活用し、気分転換をするようにしています。
- ・できる限り、食事・午睡・遊びのエリアを棚などで区切るようにしています。また、棚や衝立で仕切ってコーナーを作り、遊び込める環境作りに取り組んでいます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流の時間を計画的に作り楽しんでいます。また、ホールを幼児のリズム活動などの異年齢交流に活用しています。 ・幼児はスライディングを開け、ホールと5歳児の部屋を繋げて合同で午睡をします。必要に応じ個別対応も可能にしています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児を含む3歳未満児については、毎月「個別指導計画」を立て、必要に応じて子どもの状況に合わせた対応を検討しています。 ・個別の目標・計画の変更・見直しは、特別な配慮が必要な子どもについては特に丁寧に保護者と様子を伝えあい、情報交換をしています。同様に、職員会議やカリキュラム会議、ミーティングなどで意見を出し合う機会を設け、実践に繋げるようにしています。 ・クラスの保育引き継ぎノートがあり、ケガなど一人ひとりの子どもの特記事項や伝達事項などを記載し、交代する保育者に引き継いでいます。 ・日々の日誌等で発達記録を残し、次年度に繋げています。 ・個人日誌（0歳児）・経過記録（1～5歳児）に記録することで、子どもごとの配慮の仕方を保育者間で共有しています。経過記録はクラスごとにまとめられ、子ども一人ひとりの入園から現在までの成長の記録として事務所に保管してあり、いつでも見ることができるようになっています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を必要とする子どもの対応については、職員会議・カリキュラム会議・ミーティングなどで話し合ったり伝えあったりして情報共有をしています。共有する情報は記録され、いつでも見られるようにファイリングされています。 ・計画的に研修（たとえば、市・区主催の自閉症や障害児等に係る研修など）に参加して学び、それを職員間で共有し、特に配慮を必要とする子どもの対応に活かしています。 ・保護者の同意を得て医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっています。 ・横浜市東部地域療育センターの巡回訪問を受け、障害児保育に係る対応について相談する機会があるとともに、同センターと連携できる環境があり情報共有を行っています。また、盲特別支援学校と連携し、施設に触って分かるマークをつけています。 ・区の必須研修である要配慮児研修に参加し、その研修内容を職員間で共有する体制をとっています。 ・個別日誌を活用し、日々の成長の様子を職員間で情報共有し確認できるようにしています。 ・子どもの様子を保護者と情報共有するために、必要に応じて面談を行っています。 ・虐待の定義は全職員に周知されています。また、虐待や虐待通報義務についての文書を全職員と保護者に配付し、周知しています。 ・毎日の着替えの際に全身のチェックを行うなど、健康観察を丁寧に行っています。あざなど不審に思った時には写真撮影をして記録を残しています。疑わしい場合や見守りが必要な場合は、関係機関と連絡をとるなど対応をしています。 ・保護者と担任が必ず話をする事ができるシフトになっているので、早期発見と適切な対応につながるように、挨拶を交わしたり言葉をかけたりして信頼関係を築くようにしています。保護者の様子や言動・子どもの様子を園全体で把握できるように、ミーティングで情報共有をしています。



- ・現時点でアレルギー疾患のある子どもは6名在籍しています。月1回、担任・園長（副園長）・調理担当・主任・看護師・保護者で献立・使用食材・除去食材の確認をしています。
- ・子どもの主治医の指示に従い適切な対応を行うとともに、全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されています。また、アレルギーについての研修に参加し、最新の情報を収集し、職員間で共有するようにしています。
- ・誤食防止のため、アレルギー児専用テーブル・専用トレイ・専用食器・名札等を使用するとともに、必要な子どもについては専用の台布巾（色分けしている）や雑巾を使用しています。除去食は必ず一番先に配膳をしています。担任と調理員とでダブルチェックをしてから配膳しています。
- ・個別対応を必要とするアレルギー児には、食事時に保育士が一人付くようにしています。献立によっては食後の衣服の着替えを早く行うようにしています。なお、アレルギーに対応できるパンを使用し、できるだけ全園児が同じものを食べられるようにしています。
- ・文化（言語・表現・食事）や生活習慣、考え方の違いを認め尊重するとともに、文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮しています。宗教上の理由で食することのできない食材がある場合には、アレルギー児の除去食と同様の対応を行っています。
- ・連絡帳に記載する際には、やさしい日本語や図解で伝えるようにしています。会話の際には、ジェスチャーを交えたり、わかりやすい簡単な言葉で伝えるようにしたり工夫しています。
- ・文化の違いによる食事・言語等について保育士が理解するようにしています。




I-6 苦情解決 体制



- ・保護者が保育についての要望や苦情を述べやすいように、玄関に意見箱を設置して無記名で意見を出せるようにしています。更に、当園は一つひとつの事案に誠実に対応する姿勢を持つとともに、第三者委員に直接苦情を申し立てることができるように、連絡先を園内に掲示しています。
- ・また、入園説明会で苦情解決の仕組みを説明するとともに、配布資料にも記載しています。
- ・保護者参加の行事や年度末にアンケートを実施して、要望や苦情を聞いています。更に、懇談会や個人面談等で個々に要望を聞く機会を設けています。
- ・要望や苦情を受付対応するための苦情解決システムマニュアルが整備されています。
- ・園単独で対応が困難な場合には、第三者委員を交えての対応や区役所と連携し、改善するよう努めています。
- ・要望や苦情の解決策はミーティング等でその都度周知徹底し、全職員が内容を共有するようにしています。
- ・要望や苦情については、できることから改善し保護者にも知らせるようにしています。
- ・過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し解決に活かしたり、他の保育園と情報交換や事例の検討を行ったりもしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ－1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の子どももクラス内及び園庭で生き生きと遊んでいる姿が見られ、「遊び」を重視している園の姿勢と方針があります。 ・各年齢に応じた、ごっこ遊び、ブロック遊びのおもちゃが整っているだけでなく、それぞれのコーナー作りがなされ、子どもが自由に居場所を確保できるようになっています。 ・コーナーにはもう一つ、絵本のコーナーが各クラスにあり、子どもたちの遊びを引き出す「ものがたり」や発想を広げる役割となっています。 ・広い園庭を活かして作られた畑で収穫された芋づるは、全員が芋づるリースを作れるほどに十分な量が確保でき、食育、自然と触れる栽培の園外活動とも関連して、様々な体験ができる遊びが提供されています。 ・近くの盲学校とは一緒にリズム遊びなどで交流し、点字ブロックやチャイムの意味を知り、点字ブロックがどこまで続いているか迎えるなど、遊びを通して社会的な関心に自然に誘導しています。 ・幼児は異年齢交流の年間計画に沿った月1回の交流があり、乳児の異年齢交流もあり、更に、幼児と乳児と一緒に散歩するなど、全員が関わり合う方向に発展しています。 ・子どもたちは年齢を問わず、周囲の人に自ら話しかける元気で明るい姿がどこでも見られ、その背景には遊びを重視した保育があると感じます。
<p>Ⅱ－1 保育内容</p> <p>[生活]</p> 	<p>[生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員が積極的に関与する食事の充実が大きな特長で、保護者にも高く評価されています。 ・毎朝、5歳児の当番が事務室に各クラスの出席人数を報告し、その後調理室に寄り人数を伝え、食材などについての話などを通して調理員と交流してから1日が始まります。 ・昼食の時間帯に、毎日2人の調理員のうちの1人が各クラスの昼食の様子を見に来て、声を掛けながら食事の進み具合などを確認しています。 ・毎日のミーティングには調理員も参加し、喫食状況などの情報交換をしています。 ・幼児のクッキング体験には調理員も関わりアドバイスをしています。 ・月1回の区の献立検討会議に参加し、職員からの意見や希望を積極的に献立作成者の栄養士に伝えています。 ・樹脂の食器は使わず子どもらしい図柄の入った陶器の食器を使用し、子どもたちの健康な食生活を育てています。 ・献立は旬の野菜を使うようにし、トウモロコシやそら豆の皮むきを子どもが手伝っています。栽培した野菜が調理されることもあり、給食に興味をもてるようにしています。 ・休息は午睡の時間だけでなく、子どもの状況によって各クラスにある絵本のコーナーなど、自由に休むことができる空間があります。 ・11時間保育では、勤務時間のシフト調整を工夫しながら、大型園の特徴を活かして経験豊富な職員、若い職員など多様な人材のチームワークができつつあるように感じます。

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの健康に関する基本情報や、かかりつけ医、緊急連絡先を記した「児童健康台帳」が、子どもの体調についての保護者との連絡の基礎になっています。 ・看護師が、近隣の病院情報や怪我や体調不良への対応方法など、具体的な情報を提供しています。 ・年2回の健康診断の前に保護者から医師への質問を聞き、囑託医の回答を伝えています。 ・看護師が記入する「健康カード」があり、保護者との情報共有に役立っています。 ・保健日より「すくすく」を季刊で発行し、季節ごとの健康や病気の予防などの情報を提供しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルは事務室に置き、機会あるごとに全職員で疑問や変更点などの意見を出しあい、年度末に振り返りをしています。 ・清掃チェック表があり、清掃漏れがないようにしています。 ・各保育室とトイレに手指消毒液を設置しています。 ・汚物処理用の手袋、ペーパータオル、消毒液などを用意し、すぐに使える状態になっています。更に、嘔吐物処理用のセットを各保育室、事務室、園庭倉庫に用意しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、想定や時間帯を変えて避難訓練を行い、通報や連絡体制の訓練をしています。 ・ミーティングや会議で怪我やヒヤリハット事例の報告をして、再発防止策の検討をしています。 ・廊下の荷物掛けフックに子どもの身体が触れないように上部に小さな木の棚を設置し、安全対策を兼ねた小物展示などのスペースを作っています。 ・災害発生時の保護者への緊急連絡は、NTTの災害用伝言ダイヤル（171）を使用しています。 ・事務所内に警察、消防、警備会社の緊急時の連絡先が大きく掲示され、誰でも直ぐに連絡できるようになっています。 ・正門、裏門は電子錠を常時使用し、保護者もすべてインターホンで、顔と名前を確認してから解錠しています。

Ⅱ－３ 人権の尊

重





- ・カリキュラム会議にて、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育をしていることを声に出して皆で確認をしています。
- ・「子どもの人権」を意識し、子どもの呼び方や声の大きさ、声のかけ方に注意をはらっています。
- ・無意識に子どもを傷つけていないか、周囲の職員と確認しながら保育を行い、園内研修も実施しています。
- ・各クラスに複数のコーナーがあり、自由にゆったりと過ごせる空間が確保されています。
- ・できる限り1対1で対応する時間を設けたり、夏の水遊びやシャワーの際に周囲から見えないようにシートを張ったり、個人の居心地のよい空間を尊重するなどにより、必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保するよう工夫しています。
- ・個人情報の取扱いや守秘義務についての園内研修を毎月実施し、常に意識するようにしています。
- ・個人情報は施錠できるところに保管するとともに、個人への配布物はダブルチェックをしています。
- ・性別で区別することなく個人マークを割り振り、活用しています。

Ⅱ－４ 保護者と




の交流・連携



- ・各クラス内に園目標や保育方針等を掲示しています。また、入園説明会や春の懇談会で、園目標・クラス目標などを説明しています。更に、年2回クラス懇談会を行い、保護者との意見交換の場としています。
- ・連絡帳やクラスノートを通じて毎日の保育の様子を伝え、保護者と情報共有しています。また、引き継ぎノートにより職員間の情報共有を行っています。
- ・全家庭に希望があれば個人面談（通年）を行っていることを伝えていきます。
- ・相談の際は事務所や多目的ルームを利用してプライバシーを保護し、必要に応じて園長、主任等も関わり、チームとしての対応を心がけていきます。
- ・クラス便り（月1回）では写真を活用し、日々の保育の様子を視覚的にわかりやすく伝えていきます。
- ・年間を通じて保護者の保育士体験を実施し、給食の試食もできるようにしています。アンケートを実施し保護者の感想や意見を把握しています。
- ・土曜日開催の保護者会主催イベント「松見まつり」では、場所や必要物品を貸出すなど、開催までの準備を援助し、園長や副園長が当日参加しています。
- ・保護者会からの相談や質問、依頼等は、主任が窓口となり対応していきます。
- ・運動会とお楽しみ会後には、保護者の感想や意見を書いた付箋を廊下のボードに貼ることで、共有しています。また、共感を示す「いいね」シールを貼ることができるようになっています。



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園に来る地域の親子への相談やアドバイスに応じています。 ・ 親子で参加できるような講習会、交流会等イベントの開催をしています。 ・ ネットワーク専任保育士と育児支援担当保育士と共に、地域の子育て支援をサポートしています。 ・ 「神奈川区保育所子育て支援連絡会」に参加し、区としての育児支援の把握と実施を担っています。 ・ 地域の子育て支援サポーターとの交流「すくすくかめっ子事業」への参加を通して、地域子育て支援のニーズの把握に努めています。 ・ 歯磨き講座、トイレトレーニング等、保護者の知りたい、参加したい内容の講座を定期的に（育児講座は月に1～2回）行っています。 ・ 子育て支援のニーズに応じたサービスの提供については、行政の広報誌などに掲載し、情報提供を行っています。 ・ 育児講座、ランチ交流、園庭開放等を開催し、地域との交流を図っています。なお、育児講座、ランチ交流では参加者にアンケートを実施し、子育て支援のニーズを把握しています。 ・ 専門性を活かしたサービスの提供については会議等で周知し、より多くの職員が意識をもって関わられるようにしています。 ・ 土曜日の施設園庭開放、一時保育等での子育て支援を行っています。園庭開放の際、絵本の貸し出しも行い、読み聞かせの重要性を伝えています。 ・ 神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」に出前保育に出向き、保育技術の提供と相談に対応しています。
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児支援専用の掲示板のお知らせを出し、定期的に更新しています。 ・ 育児支援専任保育士が配置され、地域の親子を直接支援しています。 ・ 育児支援センターとして、年間活動予定一覧や育児支援情報紙「こそだてひろば」を毎月発行し、配布しています。地域の拠点にも育児支援情報紙「こそだてひろば」を常備しています。 ・ 育児相談は、平日9：30～16：00に対応しています。 ・ 区の担当保健師やケースワーカーとの連携がとれています。区からの情報は、ミーティングで共有しています。 ・ 関係機関の連絡先リストがあり、いつでも活用できるようになっています。 ・ 参加申し込みの仕方等の説明については、全職員で共通理解できるように努めています。 ・ 町内会と連携し、地域のイベントに参加しています。 ・ ネットワーク専任保育士を通じて、地域の民間園と交流・連携を図っています。 ・ 地域ケアプラザ、地区センター、区福祉保健センター、区土木事務所、資源循環局と連携がとれる体制になっています。 ・ 神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」との情報交換を、ネットワーク専任保育士、子育て支援専任保育士、園長、副園長が行うようにしています。 ・ 育児支援センター園・子育てひろば私立常設園との連絡会に参加し、情報共有を図っています。


評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育所の 地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一・第三土曜日に、施設園庭開放を実施しています。 ・運動会のプログラムに地域の子どもが参加できるものを組み込んでおり、運動会への招待状を渡しています。 ・地域の小学校との交流を定期的に行っています。 ・地域のお祭りに参加し、交流しています。 ・地域のイベントに参加し、遊びや道具の提供もしています。 ・オカリナコンサート、フラダンスグループの発表、手品・こままわし会、園庭開放での絵本の貸し出し、園庭での読み聞かせを行っています。 ・地域の民生委員を含めた「すくすくかめっ子事業」に定期的に訪問して連携をとり、地域別合同育児講座「みんなdeこそだてワイワイパーク」を共催しています。 ・地域の幼保小交流が定着し、互いに行き来して交流しています。 ・横浜保育室（0歳～2歳までの保育室）への出前保育を行い、情報交換しながら保育の質の向上を図り、各クラスとの交流や保育士同士で話し合う場を設けています。 ・ケアプラザでの食育講座には、調理員も参加しています。 ・公園へ散歩に出かけた際には、地域の親子との交流も持つように心がけています。
<p>Ⅳ-2 サービス 内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の情報等をまとめた地域向けの「保育園のしおり」を作成し、配布できるようにしています。 ・区内市立園の育児支援情報紙「こそだてひろば」を毎月発行し、配布しています。（松見保育園で発行） ・子育て情報誌などに園のサービスを掲載しています。 ・横浜市のホームページに園の基本情報を載せています。 ・区の広報やホームページに子育て支援の情報を掲載し、入所については区のホームページにサービスについての情報を載せています。 ・利用希望者の問い合わせや見学には、保育園のしおり（重要事項説明書）に基づき、説明しています。 ・広報、パンフレット、園庭開放等で情報提供を行っています。 ・見学は、担当者が対応できる日であれば、指定日（毎週金曜日）以外でも受け入れるようにしています。
<p>Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア対応の担当者を決め、相談、質問等を受けやすくしています。 ・研修でボランティア育成について学んだことを、他の職員にも会議で伝え共有しています。 ・ボランティア向けのマニュアルを備えています。 ・研修生やボランティアの報告を保育園に提出してもらい、園の運営に反映できるように努めています。 ・土曜日の施設園庭開放ボランティア（サポーター）向けと職員向けのマニュアルが整備されています。 ・日々の実習終了前や最終日には振り返りの時間を設け、実習生と意見交換をしています。 ・実習生の受け入れについては、実習日誌の内容や実習の様子に基づき、丁寧にアドバイスや指導をしています。 ・実習の感想や気付きを提出してもらい、保育の質の向上に役立っています。




	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション用パンフレットを用意し、実習に入りやすいようにしています。 ・実習生は園全体で受け入れる意識をもっています。
--	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
V-1 職員の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日に保育理念、保育方針、保育目標、保育姿勢の読み合わせをしています。 ・正規職員の人事考課を実施しています。人事考課の内容にもとづき、個々の職員の目標や反省について、園長（または副園長）との面談を実施しています。 ・非常勤職員も園長（副園長）との面談を通して、年間の見通しなどを共有しています。 ・「保育士人材育成ビジョン」「キャリアラダー」を活用し、人材育成を行っています。 ・市や区、その他の研修に積極的に参加し、報告内容を共有しています。 ・正規職員は「キャリアラダー」を活用し、計画的な研修参加を進めています。 ・研修担当者が各研修内容を把握し、個々の職員の経験やニーズにもとづき研修参加を提案しています。 ・非常勤職員等についてもマニュアルをいつでも確認できるようにしています。 ・指導担当者（各クラス担任）だけでなく、指導者以外の職員も含めたチームでの指導を行っています。 ・全職員が園内外の研修に参加し、保育の質の向上につなげています。 ・各会議やミーティングでの情報共有を通して、指導へとつなげています。
-2 職員の技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員の人事考課を実施し、個々の具体的な目標設定、振り返り、評価を行っています。 ・正規職員は「キャリアラダー」を活用し、職位に応じた受けるべき研修等がわかりやすくなっています。 ・区内市立保育園間での職員間交流研修を実施しています。 ・地域の民間園での出前保育を実施し、人材交流や保育の質の向上を図っています。 ・研修に参加し、情報交換をしています。 ・人材育成ビジョンを活用しています。 ・個々の経験にもとづいて園内での役割を明確にし、意識しながら業務に取り組むことで育成につなげています。 ・市より基礎調査を実施しています。 ・日々の保育を振り返り、保育日誌に自己評価及び考察を記録しています。 ・翌月の指導計画を作成する前に、保育内容の振り返りと保育士の自己評価を実施し、改善に努めています。 ・各クラスの保育計画を会議で共有し、助言し合っています。 ・保育園の自己評価を実施しています。 ・市の「目標共有シート」を作成し、評価を行っています。 ・年度末に保育園の自己評価でアンケートを実施、集計し、課題を職員間で共有しています。その内容を掲示し、保護者にも周知しています。 ・アンケートからの要望、意見を把握して、園および区として検討します。
V-3 職員のモチベーションの維持	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員は意向調書を作成・提出し、園長（または副園長）との面談を実施しています。 ・非常勤職員も意向について、園長（または副園長）との面談を実施しています。 ・担任間の連携を深めるため、クラス会議を実施しています。また、クラス

<p>持</p> 	<p>間の連携を深めるため、乳児、幼児会議を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスリーダーを明確化し、複数担任の連携や人材育成を進めています。 ・区福祉保健センター長とのミーティングや意見交換会を実施しています。更に、区長、課長、担当係長とのミーティングを実施しています。 ・職位に応じた役割や能力が明文化（キャリアラダー）され、提示されています。また、ストレスチェック、満足度調査を実施しています。 ・職員の個別面談を実施しています。
--	---

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・区制運営方針の配布と、センター長からの運営方針説明を実施しています。 ・園長、副園長のMBOを配布し共有しています。 ・不祥事防止研修を実施し、資料も回覧しています。また、コンプライアンス研修を実施しています。 ・職員行動基準を理解し、共有できるようにしています。 ・ヒヤリハット事例を記録し、防止策の検討と共有をしています。更に、他園のヒヤリハット事例を共有しています。 ・環境への配慮としては、野菜くずの堆肥化を行っています。 ・節電対策の実施(エアコンの設定温度管理、蛍光灯の部分消灯など)を心がけています。 ・3R夢担当によるゴミ出しマニュアルの整備と、周知共有のための研修を実施しています。 ・園内でのゴミ分別、減量化の実施に努めています。また、コピー用紙の裏紙利用を行っています。 ・暑さ対策として緑のカーテン作りを実施しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室、調理前室、各保育室に「全体の計画」を掲示し、理念や方針等をいつでも確認できるようにしています。 ・毎週月曜日に園の理念や方針等の読み合わせを実施しています。 ・指針改定に伴い、29年度末に「保育課程」を「全体的な計画」として改訂し、これを職員間で共有しています。 ・年2回の懇談会、年1回以上の個人面談を実施し、保護者の意見を聞き取っています。 ・保護者参加行事を実施した後、アンケートを実施し、意見や要望等を集約し、検討しています。 ・意見箱を設置しています。 ・シフト勤務の中で、担任が直接保護者とやりとりする機会をもっています。 ・区内市立保育園の主任が集まり、各園の課題を持ち寄りの中から、園内研修を企画し実施しています。 ・各クラスの状況を日常的に聞き取り、相談には即時に対応し助言しています。相談内容を園長、副園長、他の職員に報告し共有化しています。 ・個々の職員の業務の進捗状況を把握し、業務が円滑に進むよう職員間の連携を進めています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・局区からの情報はミーティングで報告し、文書を回覧し共有しています。 ・園長会議の報告を会議やミーティングで周知し、更に、クラス内で共有しています。 ・指針改定に伴い、全職員が新指針に関する研修に参加できるよう調整しています。 ・必要に応じて臨時会議を行い、職員全体で議論する機会を設けています。

利用者家族アンケート

利用者アンケート結果

■結果の特徴

松見保育園

アンケート回収率 70.2% 送付数: 94 回答数: 66

保育園に対する総合的な満足度は 92.5% (「満足」65.2%、「どちらかといえば満足」27.3%)と非常に高い結果となっています。

園の保育目標・保育方針については、69.7%が認知(「よく知っている」6.1%、「まあ知っている」63.6%)し、知っている保護者はその目標に賛同(「賛同できる」82.6%、「まあ賛同できる」17.4%)しています。

とくに満足度の高い項目(「満足」が 70%以上)

保育の「遊びについて」6項目については4項目が70%以上で2項目が69.7%と、全体として極めて高い満足度でした。「生活について」では給食に関する2項目が70%以上で、「基本的な生活習慣の取組」と「昼寝や休憩の対応」も69.7%の満足度で続いています。職員の対応については、「お子さんが大切にされている」と「お子さんが保育園生活を楽しんでいる」が70%以上でした。その他、「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気」69.7%も伝わっているようです。

比較的満足度が低い項目(「どちらかといえば不満」と「不満」の合計が 10%以上)

保護者の具体的な懸念は、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」12.1%と「迎えが遅くなる場合の対応」13.7%です。また、「送り迎えの際の情報交換」13.7%をはじめ「1日の過ごし方についての説明」9.1%や「ケガに関する説明や対応」9.1%も比較的満足度が低く、やや説明不足の側面を感じているようです。その他、全ての保護者の都合に合わせる事が困難な「行事の開催日・時間帯の配慮」と「保育や行事に保護者の要望が活かされているか」が9.1%と、比較的満足度が低い結果となりました。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。(人)	4	42	10	7	1	2	66
(%)	6.1%	63.6%	15.2%	10.6%	1.5%	3.0%	100.0%

(付問)	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	まったく賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	38	8	0	0	0	0	46
	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回 答	計
見学の受け入れ方については	36	14	1	1	12	2	66
	54.5%	21.2%	1.5%	1.5%	18.2%	3.0%	100.0%
	その他 ・見学していない(9)・第2子のため(2)						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	31	22	3	2	6	2	66
	47.0%	33.3%	4.5%	3.0%	9.1%	3.0%	100.0%
	その他 ・慣らし保育の説明がわかりづらい ・説明会の時期が遅い ・2次募集確定後、説明会～入園まで日数が少なく準備が大変だった						
園の目標や方針についての説明については	27	33	0	0	4	2	66
	40.9%	50.0%	0.0%	0.0%	6.1%	3.0%	100.0%
	その他 ・覚えていない						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	40	20	1	0	3	2	66
	60.6%	30.3%	1.5%	0.0%	4.5%	3.0%	100.0%
	その他 ・入園時に面接があった覚えがない ・面接は子どもの体調が悪くやっていない						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	39	18	5	1	1	2	66
	59.1%	27.3%	7.6%	1.5%	1.5%	3.0%	100.0%
	その他 ・慣らし保育期間の説明が分かりづらい						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	35	23	4	1	1	2	66
	53.0%	34.8%	6.1%	1.5%	1.5%	3.0%	100.0%
	その他 ・預かり時間が門を出る時間のことは入園前の見学時に必ず説明すべき。入門か退 出かで30分は違う。						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回 答	計
年間の保育や行事の説明については	28	32	4	1	1	0	66
	42.4%	48.5%	6.1%	1.5%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・お弁当箱など購入が必要なものが発生する場合は前日には連絡して欲しい ・説明がノートのみだと分かりづらい ・説明が直前すぎる時もある ・年間計画のプリントが配られるのみで説明などはなく、近々に都度という印象						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	22	31	4	2	7	0	66
	33.3%	47.0%	6.1%	3.0%	10.6%	0.0%	100.0%

	<p>その他</p> <p>・初年度のため判断できない(2) ・園外体育、お泊り保育等、普段とは違う保育も増やしてほしい ・小学校の運動会にほぼ毎年重なる、何度言っても変わらない(2) ・ある程度仕方ないですが要望は通らないものと思っています ・誕生会の時の写真撮影がなくなったことをつい最近まで知らなかった。子どもと一緒に撮れると思っていたので残念です ・父の日、母の日、クリスマス会がない</p>
--	--

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
	クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	46	17	3	0	0	0
	69.7%	25.8%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	52	10	2	0	2	0	66
	78.8%	15.2%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
その他 ・概ね満足だが散歩について行って欲しい、公園にも行ってほしい ・流行性の結膜炎がはやり、ほとんどプールに入れなかったのが残念でした							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	53	13	0	0	0	0	66
	80.3%	19.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	49	12	3	2	0	0	66
	74.2%	18.2%	4.5%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	50	14	2	0	0	0	66
	75.8%	21.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	46	20	0	0	0	0	66
	69.7%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・							

「生活」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回 答	計
	給食の献立内容については	51	11	1	2	0	1
	77.3%	16.7%	1.5%	3.0%	0.0%	1.5%	100.0%
その他 ・							
お子さんが給食を楽しんでいるかについて	49	15	1	0	1	0	66
では	74.2%	22.7%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%	100.0%
その他 ・わからない							
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	46	17	0	0	3	0	66
	69.7%	25.8%	0.0%	0.0%	4.5%		100.0%
その他 ・よく知らない ・2歳クラスの歯みがきが近年なくなってしまったのが残念 ・概ね満足だが、小さい子でも歯磨きをしてほしい							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	46	15	2	1	2	0	66
	69.7%	22.7%	3.0%	1.5%	3.0%	0.0%	100.0%
その他 ・分からない							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	40	17	1	1	6	1	66
	60.6%	25.8%	1.5%	1.5%	9.1%	1.5%	100.0%
その他 ・まだその時期ではない(5) ・昨年からトレーニングの開始が遅くなった、家庭から具体的に話をもちかけて、やっと園でも開始という様子							
お子さんの体調への気配りについては	40	24	1	1	0	0	66
	60.6%	36.4%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	40	18	4	2	2	0	66
	60.6%	27.3%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%	100.0%
その他 ・けがをしたことがない ・年中になり目配りができていない、気づいてないことも多くあるようです ・背中の子がかなり大きかったが説明はなかった ・乳児クラスの時(年少も)、頻りにケガや悪口などに対し、特定の子だと分からないようにされ、子どもへの対処、園への依頼が遅くなった							

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回 答	計
	施設設備については	38	24	4	0	0	0
	57.6%	36.4%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

	その他 ・夏の蚊が多い(3)						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	46	19	1	0	0	0	66
	69.7%	28.8%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・あまり使ってほしくない言葉を覚えてきたときには、はっとしてしまいます						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	32	25	6	2	1	0	66
	48.5%	37.9%	9.1%	3.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・インターフォンでの解錠はセキュリティ不十分						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	38	21	4	2	1	0	66
	57.6%	31.8%	6.1%	3.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・最終発生日だけでなく、トータル発生数も分かるとなお良い。(病院に流行っているかの報告をするので) ・今年度の途中までは各クラスに貼られているだけで、少し分かりにくかったが、最近は入口の掲示板に一覧が出るようになってとてもよかったです。 ・今年の対応が早く感染が広がる前にクラス別にされていたので安心しました						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	35	26	3	0	2	0	66
	53.0%	39.4%	4.5%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・個別面談は年2回あってもいいのでは						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	34	28	3	0	1	0	66
	51.5%	42.4%	4.5%	0.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・もっと写真が多いと嬉しいです						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	31	26	4	2	3	0	66
	47.0%	39.4%	6.1%	3.0%	4.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・小学校の運動会や行事と重なる(2) ・卒園式が平日なのは変更して欲しい ・運動会や遠足など天候に左右される行事は順延などして欲しい						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	28	27	5	4	2	0	66
	42.4%	40.9%	7.6%	6.1%	3.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・全く話さない時もある。そんなものなのか?! ・何でもよいので一言、様子を教えてください ・情報交換、特にされません						

お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	34	28	1	1	2	0	66
	51.5%	42.4%	1.5%	1.5%	3.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・同じことを複数の先生に言わなければならない時もある(トイレトレーニングの状況など) ・今までになかった						
保護者からの相談事への対応には	32	29	3	0	2	0	66
	48.5%	43.9%	4.5%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・得にしたことなし(2)						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	27	24	5	3	7	0	66
	40.9%	36.4%	7.6%	4.5%	10.6%	0.0%	100.0%
	その他 ・そういった経験がないため(4)わからない ・延長保育が19時まででは短すぎると思います。(＋30分) ・かなり厳しいのでもう少し柔軟性があるとうれしい						

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	47	14	4	0	1	0	66
	71.2%	21.2%	6.1%	0.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・いつもではありませんが、他の子どもに暴力をふるわれても先生方は気が付かないこともあるようです						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	51	14	1	0	0	0	66
	77.3%	21.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	39	22	0	0	3	2	66
	59.1%	33.3%	0.0%	0.0%	4.5%	3.0%	100.0%
	その他 ・該当しないためわからない(3) ・延長保育時間の少し前など、職員の数が減っている時、障害のある子に先生がかかりきりになって、他の子が放置の時がある						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	40	20	3	2	1	0	66
	60.6%	30.3%	4.5%	3.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・担任の先生しか名前が分からずフリーの先生は良く分かりません						
意見や要望への対応については	31	26	7	0	2	0	66
	47.0%	39.4%	10.6%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%

	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したことがない ・公立園ならではの良さと、対応が遅いなど悪さがあると思う ・個人情報保護に関する幅広い変化についてもう少し説明が欲しかったです
--	---

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	43	18	4	0	1		66
	65.2%	27.3%	6.1%	0.0%	1.5%		100.0%

利用者本人調査（保育観察）

0歳児：（1日目）遊びの様子を確認します。子ども8人、保育士3人。ガラス越しに見ると、保育士にしがみつくと子1人、仕切りの奥では保育士と2、3人が鉄棒遊び、こちらからは視線の陰になるL字の奥では園児が夢中でおもちゃ遊びやお絵描きをしています。調査員が中に入ると保育士に抱かれた子どもは泣き出し、鉄棒の1人は我々に好奇心があり出ていく時にバイバイと手を振るなど、保育士が傍にいと安心できるようです。

1歳児：（1日目）子ども15人、保育士3人。みんなで芋づるリースでの制作遊びを楽しんでいます。

2歳児：（1日目）子ども16人、保育士4人。リズム遊びでキーボードを弾いている保育士の周囲に集まり、床に座ったり、木や牛乳パックで作った椅子に2・3人ずつ座り、キーボード近くに寄ってきたり演奏している保育士に視線を向けて関心の高さがうかがえます。

3歳児：（1日目）子ども20人、保育士2人。テーブルの上でお弁当の貼り絵遊びをしていました。部屋の中には、ままごと遊び、ブロック遊びと絵本のコーナーがあり、好きなコーナーでそれぞれ絵本を見たり、寝ころがっている子どもがいましたが、一時保育の子どもも慣れているとのことで溶け込んでいました。

（2日目）園庭にでると先ず3歳児が寄ってきて、足をつんつんと突いて今日は何故3人で来ているのか、何時までいるのかと話しかけてきました。前日の雨の水たまりを除く手伝いを遊び感覚でやっていて、シャベルに乗せた砂を見せにきました。

3～5歳児が一緒になりリズムあそび。保育士5人、ピアノ1人。週1回ピアノに合わせて皆でうたを歌い体を動かしている。

昼食。子ども19人、保育士1人。子どもは話しかけてきて皆、活気があり元気。メニューは、タンドリーチキン、パン、スープ（白菜、にんじん）。

4歳児：（1日目）子ども24人。給食は殆どの子が完食。調理担当が巡回してきて園児に話しかけて親しげに会話をしていました。早く食べ終わった子が歯みがき後、コーナーにいてあやとりをもってきて色々やってくれたり、芋づるリースを壁に並べていました。殆どの子が自然にコーナーで思い思いに遊び、ひとりの子が劇の歌を歌うと多くの子が合わせて歌い始めて合唱となりました。

（2日目）ホールで、近くの盲学校との交流。3、4、5歳児が一緒にリズム遊びをしていました。ホールの周囲に並べられた椅子に座って、グループごとに中央に出てリズム遊びをします。座っている4歳児も音楽に合わせて歌と手の振りで参加していました。

5歳児：（1日目）当番の5歳児がクラスごとの出席人数を事務室の園長に報告に来ます。その後、調理室にいて人数を伝えるとともに今日の食事やおやつについて説明を受けています。

交流で大口台小学校に行っていて不在。

子ども23人、保育士3人と一緒に昼食。メニューは五目ラーメン、切り干し大根の煮付、麦茶。皆明るく積極的に話しかけてきます。食事が終わったら着替え→遊び→読み聞かせ→昼寝。

（2日目）盲学校の子ども1人が交流に来園。5歳児と一緒にピアノに合わせて床で運動。ハタあそび（パラバルーン）を楽しむ。

昼食の時間に部屋に入ると、当番の一人が「手を洗ってください」と声を掛けてきて、この席に座るといいと勧めてくれました。スープを食べる前に少なくしてもらおう子、タンドリーチキンとスープは直ぐに食べてしまいお替りに行く子などそれぞれが満足のいく食事の様子でした。配慮が必要な子には保育士が付いて無理なく食べられるように寄り添い、食後には傍に行き相手をする（関心がある）子、視線を送り見守っている子がいました。

事業者コメント

今回の第三者評価受審を機会に、園内研修の充実を図る事ができました。

正規職員、嘱託職員、アルバイト職員の全員で日々の保育や子どもの発達、学びについて自己評価をしながら振り返りをしました。シフト勤務を考慮し職員50名を4グループに編成した事で、意見が出しやすく各自が主体的な取り組みとなりました。

各グループで課題や疑問点を確認し合い、その後会議やミーティング時に何度も検討を重ね、多くの職員が共通した思いへと方向を確認する機会にもなりました。

また、保育所保育指針改定という年に受審する事になり、子どもの最善の利益を保障するという原点と、保育所保育指針を常に念頭に置き保育をする大切さを、全員で共通認識をしました。

保護者のみなさまにはお忙しい中、アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。評価結果や保護者アンケートの結果を今後の保育園運営、保育の質の向上に活かしてまいります。

松見保育園